

<主な質問への回答>

カテゴリー	質問内容	回答
全般	公開期間後も動画をダウンロードできる様に掲載してください。	ご意見をいただきまして、ありがとうございます。今回の動画配信は年に一度開催している公開の発表会をオンラインで代替しているもので、音声付パワーポイントの公開は期間を限定させていただいています。ただし、音声のないパワーポイント資料は公開終了後に下記のページに掲載しますので、ご覧ください。大変申し訳ございませんが、ご理解をいただきますようお願いいたします。 <a href="https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/meeting/results">https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/meeting/results</a>
多摩川水系で確認された外来付着珪藻ミズワタクチビルケイソウの繁茂実態	また、動画で使用した論文、論文要旨などを公開していただくことは可能でしょうか。	年報2020にもミズワタクチビルケイソウに関する研究について掲載しており、参考文献についても記載がございます。下記のページをご参照ください。 <a href="https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/wp-content/uploads/sites/5/2020/12/4-8.pdf">https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/wp-content/uploads/sites/5/2020/12/4-8.pdf</a>
島しょ地域への水素蓄電の適用に向けた検討	太陽光発電および水素蓄電には、外部不経済を削減する効果(炭酸ガス発生抑制)があると思います。これは考慮しないのでしょうか？(特に、島しょ部は、自然の宝庫なので、環境財の価値を高く見積ることができるのではないのでしょうか。)	現在、国内外において、CO <sub>2</sub> 排出量取引や電力証書など、環境負荷価値を内部経済に組み入れる様々な取組が行われています。現時点の評価では、こうした視点での十分な検討は行っていません。水素蓄電技術は、このようなCO <sub>2</sub> 抑制の環境価値に、例えば気候変動対策といった経済的な評価を考慮することで、導入の実現に向けた可能性が高まることも考えられます。「自然の宝庫である東京都の島しょの環境財の価値」が持つ可能性については、今後の検討に向けて、貴重なご意見として受け賜らせて頂きます。
	初期コストの提示はありましたが、太陽光発電や水素蓄電設備の耐用年数を含めた計算(メンテナンスコストを含む)はありますでしょうか。やはり、従来法と比較するとコスト差は広がる方向でしょうか。	今回の報告では、初期コストの試算に加えて電気料金単価の比較を行っています。このコスト試算の前提では、水素蓄電設備(水素製造装置、燃料電池等)の設備単価に寿命(耐用年数)を考慮しております。ただし、設備の設置に係る工事費用やメンテナンスコスト等については、未だ導入事例が少なく、参考資料が得られていないことからコスト試算に含めておりません。この様な試算に含まれていないコストを加えると、水素蓄電の導入に係るコストは上昇しますが、(最後の「まとめ」で触れさせて頂きましたが、)今後の技術開発によるコスト低下や大規模導入によるスケールメリットを踏まえたコストの低減を期待することも出来ます。 一方、今後はリチウムイオン電池の価格も一層と低下するほか、様々な蓄電技術の進展が考えられています。こうした動向も把握しながら、水素蓄電の適用の検討を深めていきたいと考えております。

※質問は1月15日まで受付しております。

全ての質問にお答えできない場合もございますので、ご了承ください。